

「一般貸切旅客自動車運送事業」法令等試験問題

申請者名 _____

記入者名 _____

席 番 号	
-------------	--

(注意事項)

1. 本問題中「事業者」とあるのは、「一般貸切旅客自動車運送事業者」を指します。
2. 設問の文中には、条文の一部を省略しているものもあります。

I. 次の1から15までの文章で、正しいものには○印を、そうでないものには×印を()内に記入しなさい。

1. 一般旅客自動車運送事業者は、運行管理者がその業務として行う助言を尊重しなければならない、事業用自動車の運転者その他の従業員は、運行管理者がその業務として行う指導に従わなければならない。(道路運送法第23条の5)
(○)
2. 運送引受書の記載事項である「運行の開始及び終了の地点及び日時」のうち、「地点」は運行に係る事業用自動車の車庫を、「日時」は当該車庫からの出庫及び帰庫の日時をいう。(運輸規則第7条の2、解釈・運用通達)
(○)
3. 旅客自動車運送事業者は、その事業用自動車が非常信号用具、非常口又は消火器を備えたものであるときは、当該自動車の旅客に対しこれらの器具の取扱いについて適切な指導をしなければならない。(運輸規則第38条)
(×)
4. 道路運送車両法における「自動車」とは、原動機により陸上を移動させることを目的として製作した用具で軌条若しくは架線を用いないもの又はこれにより牽(けん)引して陸上を移動させることを目的として製作した用具であつて、原動機付自転車以外のものをいう。(道路運送車両法第2条)
(○)
5. 事業者は、営業所に少なくとも営業区域内の道路、地名、著名な建造物、公園、名所及び旧跡並びに鉄道の駅が明示された地図であつて地方運輸局長の指定する規格に適合するものを備えておかなければならない。(運輸規則第29条)
(×)

6. 一の営業所において複数の運行管理者を選任する旅客自動車運送事業者は、それらの業務を統括する運行管理者を選任しなければならない。(運輸規則第47条の9)
(○)
7. 統括運行管理者は、法令に定める方法で行った日常点検の結果に基づき、運行の可否を決定しなければならない。(車両法施行規則第32条)
(×)
8. 自動車検査証の有効期間は、旅客を運送する自動車運送事業の用に供する自動車、貨物の運送の用に供する自動車及び国土交通省令で定める自家用自動車であつて、検査対象軽自動車以外のものにあつては一年とする、その他の自動車にあつては二年とする。
(道路運送車両法第61条)
(○)
9. 事業者は、運賃及び料金並びに運送約款を自動車車庫において公衆に見やすいように掲示しなければならない。(道路運送法第12条)
(×)
10. 事業者は、運行管理者を選任又は解任した場合及び運行管理の補助者を選任又は解任した場合は、当該届出事由の発生した日から十五日以内に届出を行わなければならない。
(運輸規則第68条)
(○)
11. 事業者は、法令の規定による通知に従い、地方公共団体の長に対し、負担金を納付する義務を負う。(道路運送法第43条の15)
(×)
12. 旅客自動車運送事業者は、経営の責任者の責務を定めることその他の国土交通大臣が告示で定める措置を講ずることにより、絶えず輸送の安全性の向上に努めなければならない。
(運輸規則第2条の2)
(○)
13. 事業者は、発地及び着地のいずれかがその営業区域外に存する旅客の運送をしてはならない。
(道路運送法第20条)
(×)
14. 旅客自動車運送事業者は、酒気を帯びた状態にある乗務員を事業用自動車に乗務させてはならない。(運輸規則第21条)
(○)
15. 事業者は、整備管理者を選任したときは、その日から十五日以内に、地方運輸局長にその旨を届け出なければならない。(車両法第52条)
(○)

Ⅱ. 一般貸切旅客自動車運送事業の運賃及び料金の標準適用方法に関する次の文中、正しいものには○印を、そうでないものには×印を（ ）内に記入しなさい。

(一般貸切旅客自動車運送事業の運賃・料金の標準適用方法)

- ① 時間制運賃は、出庫から帰庫までの拘束時間により計算するが、これに回送時間は含まれないため、別途請求する必要がある (×)
- ② 走行時間の端数は、30分未満は切り捨て、30分以上は1時間に切り上げる (○)
- ③ ガイド料、有料道路利用料、航送料、駐車料、乗務員宿泊料その他旅客から運賃以外の経費が発生した場合には、その実費を事業者の負担とする (×)
- ④ 対外的に示す運賃・料金は、それぞれ消費税額及び地方消費税額を含んだ額を表示する (○)
- ⑤ 大型車の区分の基準は、車両の長さ7メートル以上、乗車定員29人以上である (×)

Ⅲ. 「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」に定める一般乗用旅客自動車運送事業以外の旅客自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等に関する次の文中、（ ）内に入る字句として正しいものを下欄から選び、（ ）内に記号を記入しなさい。

(自動車運転者の労働時間等の改善のための基準)

- ① 拘束時間は、4週間を平均し1週間当たり（ ク ）を超えないものとする。
- ② ただし、貸切バスを運行する営業所において運転の業務に従事する者等については、労使協定があるときは、52週間のうち16週間までは、4週間を平均し1週間あたり（ ケ ）まで延長することができる。
- ③ 1日の運転時間は、2日（始業時刻から起算して48時間をいう）を平均して（ オ ）を超えないものとする。
- ④ 連続運転時間は、（ エ ）を超えないものとする。
- ⑤ また、連続運転時間の限度経過前若しくは経過直後に運転を中断して（ イ ）以上の休憩等を確保すること。

ア. 5分	イ. 30分	ウ. 1時間	エ. 4時間	オ. 9時間
カ. 12時間	キ. 40時間	ク. 65時間	ケ. 71.5時間	コ. 90時間

Ⅳ. 事業者は、法令により定められた報告書を、決められた時期に提出しなければなりません。では、事業者が提出する下記の報告書に関して、報告期間と提出時期として正しいものを下欄から選び、（ ）内に記号を記入しなさい。（旅客自動車運送事業等報告規則第2条）

- ①事業報告書 ： 報告期間（ オ ）に係るもの
 ： 提出時期（ ク ）
②輸送実績報告書 ： 報告期間（ ウ ）に係るもの
 ： 提出時期（ エ ）

ア. 毎年10月1日から9月30日迄の期間 イ. 毎年1月1日から12月31日迄の期間 ウ. 前年4月1日から3月31日迄の期間 エ. 毎年5月31日まで オ. 毎事業年度 カ. 毎事業年度の経過後150日以内 キ. 毎年3月31日まで ク. 毎事業年度の経過後100日以内
--

Ⅴ. 事業者が、その事業計画を変更しようとするときに、認可を受けなければならない場合があります。では、下記の中で認可を必要とする事項を選び、該当する事項には○印を、そうでない事項には×印を（ ）内に記入しなさい。（道路運送法第15条）

- | | |
|-----------------|-----------|
| ① 休憩仮眠施設の位置の変更 | (×) |
| ② 自動車車庫の収容能力の変更 | (○) |
| ③ 営業所の名称の変更 | (×) |
| ④ 運行管理者の変更 | (×) |
| ⑤ 営業区域の縮小 | (○) |
| ⑥ 事業の休止 | (×) |

VI. 次の文中の（ ）の部分にあてはまる語句を答. _____の欄に記入しなさい。

1. 一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款では、運送契約は、（ ）を契約責任者に交付したときに成立する。(標準運送約款第6条)

答. 乗車券

2. 一般貸切旅客自動車運送事業の許可は、五年ごとにその（ ）を受けなければ、その期間の経過によつて、その効力を失う。(道路運送法第8条)

答. 更新

3. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の（ ）ごとに、自動車の点検及び清掃のための施設を設けなければならない。(運輸規則第47条)

答. 使用の本拠

4. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車に係る事故が発生した場合には、法令で定められた事項を記録し、その記録を当該事業用自動車の運行を管理する営業所において（ ）保存しなければならない。(運輸規則第26条の2)

答. 三年間

5. 一般貸切旅客自動車運送事業の運賃及び料金の設定又は変更の届出をしようとする者は、当該運賃及び料金の実施予定日の（ ）までに、運賃及び料金設定（変更）届出書を提出するものとする。(道路運送法施行規則第10条の2)

答. 三十日前